

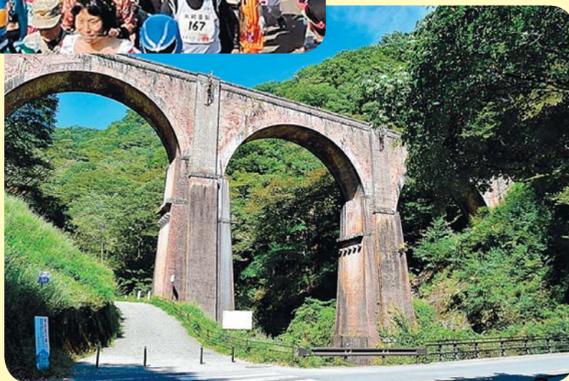
誰一人取り残さない

安中市

豊かな自然と交通アクセスの良さに恵まれた安中市。コロナ禍で新しい生活スタイルが浸透しつつあり、その暮らしやすい環境が注目されている。社会が変化する中、指針とするのがSDGs(国連が定めた持続可能な開発目標)だ。移住してきた人、外国人、障害者。多様な住民が互いに認め合い、共に生きる地域づくりを進めることで、「誰一人取り残さない」市を目指している。



安中市の長い歴史を象徴するイベント「安政遠足待マロン大会」(写真上)と豊かな自然の中にたたずむめがね橋(写真右)



心強い頼れる関係

就職を機に、千葉康太さん(38)は松井田町人見は18歳で岩手県から本県に移り住んだ。幼なじみの幸さん(38)と結婚し、26歳で現在の場所に家を建てた。「安中市の同僚に紹介してもらった。穏やかな場所、災害もあまりないのがい」と話す。

環奈ちゃん(5)、玲奈ちゃん(2)の2人の娘に恵まれ、近所付き

岩手県から移住
千葉 康太さん

「近所の人も子どもをかわいがってくれる」と喜ぶ千葉さん一家

合いの大切さを実感している。幸さんは普段から子どもたちのことをかわいがってくれる。近くに親戚がいないので、困った時に頼れる関係が築けている。幸さんは「心強い」と感謝している。

千葉さん夫妻は岩手県一関市出身。人口は安中市の2倍ほどいるが、面積が4倍以上もあるため、安中の方が都会に感じるといいます。「安中は適度に商業施設と自然がある。のんびりした環境は故郷に似ている。性に合っている」。周囲の温かい目にも支えられ、子どもたちが伸び伸びと成長していく姿を思い描いている。

家族3人穏やかに

中国山東省出身の王加雷さん(41)は原市に安中市に住み始めたのは2014年。高崎市の自動車部品製造会社に就職したのがきっかけだ。16年には妻の栞建梅さん(38)と長女の王子陽さん(11)を母国から呼び寄せ、家族3人で穏やかに暮らしている。

中国山東省出身
王 加雷さん

「温泉が好き」という(左から)王さん、子陽さん、建梅さん

移住を決めたとき、小学校に入学する子陽さんのため、安中市国際交流協会が日本語学習をサポート。来日当初は全話せなかったことが信じられないほど。今は流暢に日本語を話す。

子陽さんは「安中は自然豊か。友達もたくさんいて学校がとても楽しい」と笑顔を見せる。建梅さんも協会主催の日本語教室やイベントに参加するなど、市民として充実した日々を過ごしている。

昨年、永住権を取得した。安中は都会過ぎず、田舎過ぎず、気軽に日帰り温泉施設に行けるのもいい。近いうちにマイホームを持ちたい。

得意分野を生かす

ワークシoppほしの子ー板鼻は、知的障害や精神障害のある人の就労をサポートする施設だ。現在の利用者数は18、60代の18人。同じ敷地内にある企業から仕事を請け負い、プラスチック成形などの作業に取り組んでいる。

昨年11月、安中市とセブントイレブ・ジャパンが包括連携協定を結んだことを受け、

初めてエコバッグ作りを挑戦した。端切れを使い、200個制作。納品まで自分たちで行い、市内のセブントイレブ13店舗で2月末日まで販売した。

「お客さんの笑顔を見たい。生地を合わせるところが楽しかった」とうれしそうに話す。

施設を運営するP.S.サポートの星名由香社長(50)は「施設で行う仕事の幅を広げたい」と思っていた。利用者それぞれに得意なところがある。その力を生かせるようにサポートしていきたい」と話している。

田真由美さん(41)は「お客さんの笑顔を見たい。生地を合わせるところが楽しかった」とうれしそうに話す。

手先が器用という池田真由美さん(41)は「お客さんの笑顔を見たい。生地を合わせるところが楽しかった」とうれしそうに話す。

「お客さんの笑顔を見たい。生地を合わせるところが楽しかった」とうれしそうに話す。

「お客さんの笑顔を見たい。生地を合わせるところが楽しかった」とうれしそうに話す。

移住定住促進 サポート充実

市内への移住を促進し、定住人口の増加による地域活性化を目的に、さまざまな移住定住支援策を実施している。

- ・空き家バンクの登録物件のリフォーム補助
- ・工事費用の2分の1(上限20万円)もしくは家財処分の処理費用の2分の1(上限10万円)を補助
- ・安中市住まいりー奨励金
- ・お試し移住

初めて市内に住宅を取得し、定住する人を対象に「奨励金」として5万円(住宅取得費用・税込みの3%、上限5万円)を交付。世帯状況により加算。

初めて市内に住宅を取得し、定住する人を対象に「奨励金」として5万円(住宅取得費用・税込みの3%、上限5万円)を交付。世帯状況により加算。

SDGsで心をつなぐ

～やわらかい社会を目指して～

安中市市長 茂木 英子

コロナ禍により、身体的距離をとることが求められている。これからは「誰一人取り残さない安中市」を実現するため、さまざまな施策により、心をつなぐのを皆さんと一緒に作っていきたくと考えています。

この社会には、同じ人は誰もいません。本市は、さまざまな人たちがお互いに認め合い、ともに生きていける、やわらかい社会を目指しています。

「心の距離」までも遠く

安中市松井田町坂本1222 Tel.027-380-4000
(営業時間) 10:00~21:00(最終入浴は20:30)
(休館日) 毎月第2・第4火曜日

峠の湯

“素材”なら世界のブランド「シンエツ」

ShinEtsu 信越化学工業株式会社

【群馬事業所グループ】
安中市磯部2丁目13番1号 ☎027-385-2120(大代表)
https://www.shinetsu.co.jp

元気な安中市を応援します!

株式会社 ボルテックス セイゴン

代表取締役 武井 宏
安中市原市432 Tel.027-382-3333

磯部温泉は日本最古の温泉マーク発祥の地です。

磯部温泉組合

組合長 田村 光三
役員 一同

半導体関連素材の切断・形状・研削・研磨一貫加工

フジセイコー株式会社

代表取締役社長 大澤 隆
安中市郷原939-1
Tel.027-385-3641
http://www.fj-seiko.co.jp

若者定住支援プロジェクト「くま愛 ここに生きる」キャンペーン協賛社 (順不同)

アイオー信用金庫、桐生信用金庫、群馬ダイハツ、JAグループ群馬、成電社、利根郡信用金庫、日本生命、三電機械株式会社、赤城自然園、桐生第一高等学校、群馬トヨペット、JESCO SUGAYA 株式会社、SECOM セコム上信越、とみながこども園、明和県央高等学校、あかぎ信用組合、KIRIN、群馬ナブコ、群馬パース大学、しのめ信用金庫、高崎信用金庫、MEZAKI CREATE、あすかホール、あすからいふ倶楽部、GOSKI ISOBEMOTORS、CLIMB CLIMB CO.,LTD.、群馬パース大学、住宅金融支援機構、富士スバル、系井商事株式会社、カネコ種苗株式会社、共愛学園、群馬銀行、群馬県信用組合、群馬県ヤクルト販売(株)、Yakult、上毛共済、STAR KOTSU、株式会社スナガ、東京海上日動、TOKYO GAS、ふれあいバンク、日産サティオ群馬、日産プリンス群馬、株式会社日本キャンパック、冬木工業、PRIOR HOLDINGS、Primavera、理研鍛造、連合群馬、ららん藤岡、ヤマト、おかげまで20周年、ららん藤岡、理研鍛造、連合群馬